

平成 16 年度 秋期 アプリケーションエンジニア試験 解答例

午後 試験

問 1

設問	解答例・解答の要点		備考	
設問 1	入力させる項目	会員 ID	と は順不同	
	チェックできること	登録確認メールを受信したこと		
	入力させる項目	パスワード		
	チェックできること	申込者本人であること		
設問 2	クライアント側の処理は、顧客側のブラウザでスクリプトを無効にするなどによって、システム設計者の意図どおりに動作しない可能性があることを、適切に説明していること			
設問 3	(1)	会員マスタに追加すべき項目	前回注文日	と は順不同
		商品マスタに追加すべき項目	登録日	
	(2)	プロセス 追加すべき 処理内容	商品選択 会員マスタを読んで、前回注文日を商品詳細情報表示に引き渡すことを、適切に記述していること	
		プロセス 追加すべき 処理内容	注文内容確認・確定 会員マスタの前回注文日を本日の日付に更新することを、適切に記述していること	

問 2

設問	解答例・解答の要点		備考
設問 1	a	会員証	
	b	現在貸出図書冊数	
	c	貸出履歴ファイル	
	d	貸出会員コード	
	e	貸出日時	
	f	現在貸出図書冊数	
	g	返却日時	
	h	貸出日時	
	i	貸出可能	
設問 2	IC タグの一括読込みの読取り率が 97% しかないので、未読のチェックを行うために画面から冊数を入力していることを、適切に説明していること		
設問 3	書架の近くに設置した PC で図書の IC タグの情報を読み込んで、貸出可能期間を表示させるという方法を、適切に記述していること		
設問 4	(1)	貸出会員氏名	
	(2)	処理名	返却処理
		追加すべき処理内容	IC タグの貸出会員コードの内容をクリアすることを、適切に記述していること

問3

設問	解答例・解答の要点		備考
設問1	a	融資不可	
	b	審査請求	
	c	融資不可	
	d	融資可	
	e	決裁	
	f	融資契約	
設問2	<p>The diagram shows the following entities and their attributes:</p> <ul style="list-style-type: none"> 口座 (Account): 支店番号, 顧客番号, 口座番号, 金融商品コード, 口座残高 顧客 (Customer): 支店番号, 顧客番号, 顧客名, 住所, 格付, 担保残高, 財務状況区分 融資商品 (Financing Product): 融資商品コード, 融資商品名, 商品融資限度額 取引 (Transaction): 支店番号, 顧客番号, 口座番号, 取引番号, 取引コード, 取引日付, 取引金額 案件 (Case): 支店番号, 顧客番号, 案件番号, 日付, 融資商品コード, 融資金額, 担保金額, 審査作業区分, 融資可否区分 <p>Relationships:</p> <ul style="list-style-type: none"> 口座 (1) to 顧客 (1) via 支店番号 and 顧客番号. 口座 (1) to 取引 (1..*) via 口座番号. 顧客 (1) to 案件 (0..*) via 支店番号 and 顧客番号. 融資商品 (1) to 案件 (0..*) via 融資商品コード. 		
設問3	(1)	g 案件テーブルの審査作業区分に、“承認作業済”を設定することを、適切に記述していること	
	(2)	h 融資商品テーブルを読み込む	
		i 財務状況区分 = “基準内”	
		j 融資限度額 融資金額	
設問4	(1)	他案件で担保残高の更新が行われる前に、当該案件の融資限度額が計算される場合であることを、適切に記述していること	
	(2)	融資限度額チェック処理	

問4

設問	解答例・解答の要点		備考
設問1	a	登録日	
	b	同一の注文番号のデータ	
	c	請求確認済	
	d	発注済	
設問2	非標準品の品目情報を品目マスタに、発注基本情報を発注品目マスタに登録することを、適切に記述していること		
設問3	受入数	発注数と同数、又は“0”であることを、適切に記述していること	
	良品数	“0”以上、かつ受入数（発注数）以下であることを、適切に記述していること	
設問4	分割納入の場合は、納品書の受入数を実際の納品数に訂正することを、適切に記述していること		